

 太洋基礎工業株式会社

54期決算説明会資料

目次

会社概要

決算の概要

1. 要因と特色
2. 業績について
3. 財政状態について
4. キャッシュ・フローについて

トピックス

現場最前線

会社概要

商号	太洋基礎工業株式会社
代表者	代表取締役 加藤 行正
本社所在地	名古屋市中川区柳森町107番地
電話番号	(052)362-6351
連絡者	執行役員管理本部長 庄田 政義
創業年月日	1958年(昭和33年)5月25日(豊住組)
設立年月日	1967年(昭和42年)5月1日
資本金	4億5,630万円
発行済株式数	819,600株
証券コード	東証JASDAQ 1758 (1997年11月20日上場)
決算期	1月31日
従業員数	228名 (2021年1月31日現在)
建設業許可	国土交通大臣許可(特-28)第5312号 土木工、とび・土工、石、鋼構造物、舗装 しゅんせつ、塗装、水道施設 建築、大工、左官、防水、内装仕上、解体 国土交通大臣許可(般-28)第5313号 電気工事業 国土交通大臣許可(般-28)第5312号 さく井 地質調査業許可 質01第2674号



株価チャート

54期 1月31日
株価
@4,810円

54期通期高値
(2月~1月間)
@8,440円

54期通期安値
(2月~1月間)
@4,110円

決算の概要

1. 要因と特色

創業以来「働いて良かったといえる職場づくり」「社会に存在価値のある職場づくり」を経営理念とし、「建設で拓く豊かな都市づくり」「職域で自己を磨く人こそ建設人」をスローガンに、都市の環境や基盤整備を通して地域社会の発展に貢献できる企業を目指しております。

建設業界におきましては、個人消費の持ち直し、設備投資の持ち直しに足踏みがみられ、住宅建設は横ばい状態となり、公共投資については高水準にあるものの、このところ弱含んでいるなど、不透明感が継続されておりいまだ予断を許さない状況にあります。

特殊土木工事 社会インフラおよび都市再開発
住宅関連工事 建築物や土木構造物の基礎を安定
構造物修復工事 社会貢献の一助
建築部門 リフォーム工事からマンション建築
災害復旧は建設業の役割

土木の専門家として技術力と収益力を維持するとともに、社会に貢献できる会社づくりを経営方針としております。



2.業績について

(単位:百万円)

	2021年1月期		2020年1月期	
	金額	利益率	金額	利益率
売上高	13,308	%	11,853	%
営業利益	593	4.46	591	5.00
経常利益	660	4.96	634	5.35
当期純利益	435	3.27	479	4.05
1株当たり当期純利益	654円87銭		708円73銭	

当事業年度の受注高につきましては、126億63百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

当事業年度の売上高につきましては、133億8百万円(前年同期比12.3%増)となりました。損益につきましては、営業利益は5億93百万円(前年同期比0.4%増)、経常利益は6億60百万円(前年同期比4.2%増)、当期純利益は4億35百万円(前年同期比9.2%減)となりました。

2.業績について

売上高の推移 (単位:百万円)



営業利益、経常利益、当期純利益の推移 (単位:百万円)

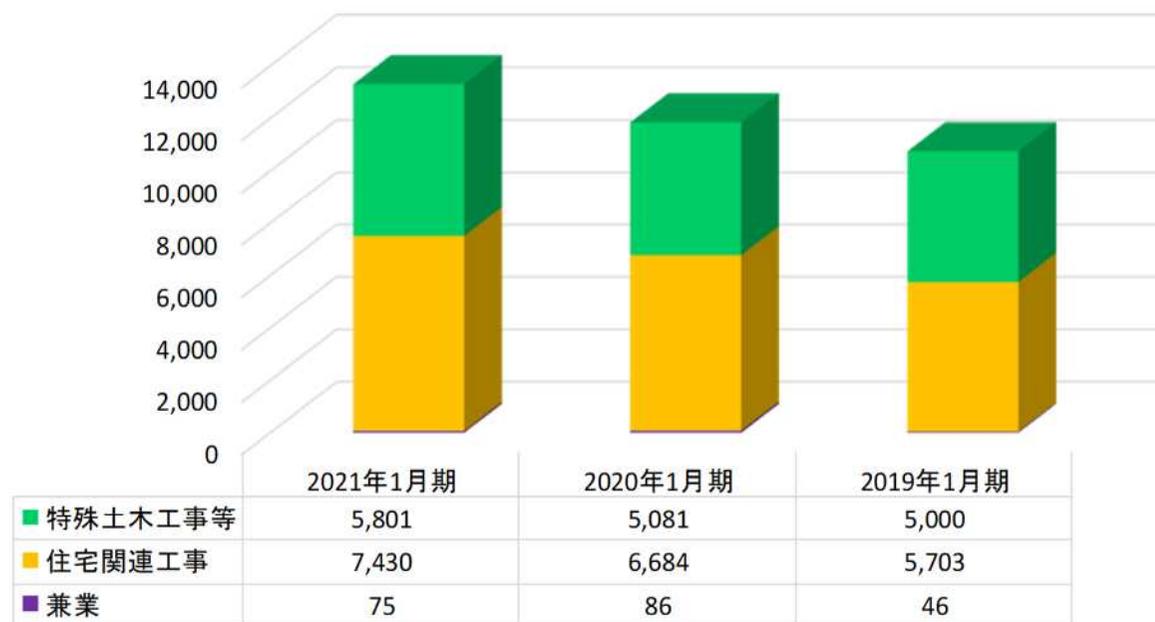


・セグメント別

特殊土木工事等事業では、当社主体で設立した協会による工法の普及と受注、設備投資をおこなった建設機械の有効活用により都市再開発関連となる地中障害物撤去工事、地中連続土留壁工事など、基礎工事専門職の特徴を活かした受注拡大を目指してまいりました。

住宅関連工事業では、個人消費低迷により戸建住宅地盤改良工事の施工件数は減少となりましたが、太陽光発電設備築造やマンション建築等の新規受注など積極的に営業展開をおこなってまいりました。

セグメント別売上状況 (単位:百万円)

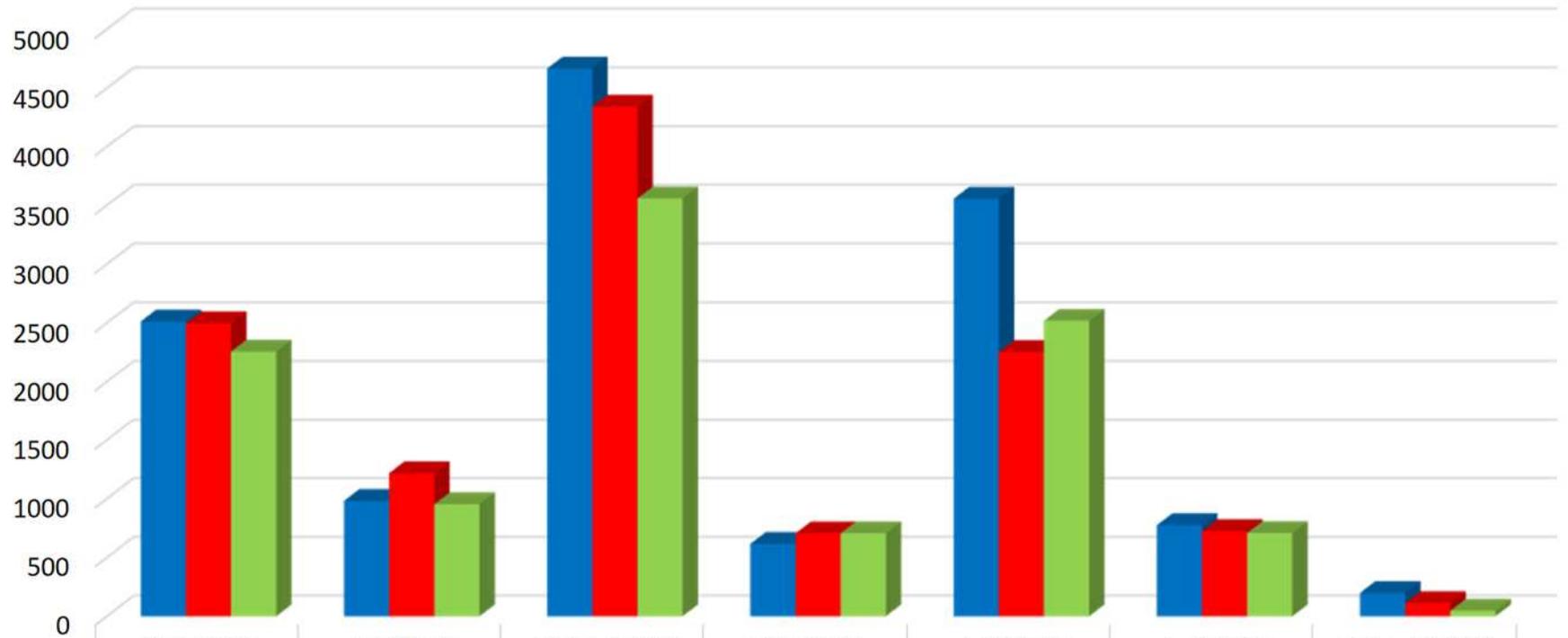


セグメント別受注状況

(単位:百万円)

	2021年1月期		2020年1月期		2019年1月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
特殊土木工事等	6,628	2,181	4,920	1,353	4,766	1,515
住宅関連工事	6,003	1,400	7,502	2,827	7,219	2,009
兼業	31	-	42	0	3	-
合計	12,663	3,581	12,465	4,182	11,989	3,525

支店別売上高 (単位:百万円)



■ 2021年1月期	2512	982	4666	616	3556	775	198
■ 2020年1月期	2496	1217	4343	706	2252	724	112
■ 2019年1月期	2256	953	3559	706	2518	708	47

財政状態について

(単位:百万円)

	2021年1月期	2020年1月期
総資産	10,074	10,251
純資産	7,298	7,033
自己資本比率(%)	72.4	68.6
1株当たり純資産(円)	10,967.58	10,568.50

・ 当事業年度末における資産合計は100億74百万円となり、前事業年度に比べ1億76百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金が減少したことによります。

負債合計は27億75百万円となり、前事業年度末に比べ4億42百万円減少いたしました。その主な要因は、支払手形、工事未払金及び未成工事受入金が増加したことによります。

純資産合計は72億98百万円となり、前事業年度末に比べ2億65百万円増加いたしました。その主な要因は、繰越利益剰余金が増加したことによります。

キャッシュ・フローについて

(単位:百万円)

	2021年1月期	2020年1月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△419	1,066
投資活動によるキャッシュ・フロー	△706	△494
財務活動によるキャッシュ・フロー	△169	△95
現金及び現金同等物の増加(△は減少)	△1,295	475
現金及び現金同等物の期首残高	3,366	2,890
現金及び現金同等物の期末残高	2,071	3,366

当事業年度において営業活動の結果使用した資金は、4億19百万円(前事業年度は10億66百万円の収入)となりました。この主な要因は、売上債権の増加及び仕入債務減少によるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、7億6百万円(前事業年度は4億94百万円の支出)となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、1億69百万円(前事業年度は95百万円の支出)となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出及び配当金の支払いによるものであります。

トピックス

創業62周年記念事業
常盤学区に防災用の浅井戸を寄贈
しました。



現場最前線

主力工法のTRD・CCC工法を施工しました





太洋基礎工業株式会社

ホームページ：<http://www.taiyoukiso.co.jp/>

お問い合わせ先：管理本部　I R担当

電話：052-362-6351

☆当資料は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づくものであります。

☆社会情勢や経営環境の変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績は記載の予想値と大きく異なる結果となる可能性があります。